

副専攻名 地域創造学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

地域創造学類以外の学生が、地域創造学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。地域創造学類の共通科目と福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、健康スポーツの各コース専門基礎科目の25科目中より20単位以上修得することによって、地域課題を学際的、横断的に学び、柔軟な発想力や地域課題に主体的に取り組む姿勢の形成を目指している。

副専攻の学習成果

- ・地域創造学を構成する領域と問題意識を理解する。
- ・地域課題を把握し分析する能力が身につく。
- ・地域課題の解決に向けた施策や方法論を理解する。

副専攻を構成する科目 ()内は平成20年度入学者

| 科目番号 | 授業科目名 | 学生の学習目標 | 学年 | 前期 | 後期 |
|------------------|--------------------|---|----|----|----|
| 15000 | 地域創造学 | 地域創造学の基本的な内容と特徴を理解するとともに、誰もが生き生きと安心して暮らせる地域をつくるうえで、地域創造学がどのように活用できるかを、具体的な事例を通して理解する。 | 1 | 2 | |
| 15001 | 福祉マネジメント論 | マネジメントについての基本的な考え方、登場背景を理解する。マネジメントについて肯定・否定的側面の両面から考察し、また保健・医療・福祉分野におけるマネジメントに限定することなく、マクロからミクロにわたるマネジメントとその関係分野について広い視野で理解を深める。 | 1 | | 2 |
| 15005 | 人権論 | ・人権が、「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」(憲法97条)であること、その「保持」のためには、人々の「不断の努力」(同12条)が必要であることを理解する。 ・人権保障の対象であると同時に、公務員や専門職の場合は、人権保障の「ない手」となること、さらには他の人の人権を尊重する姿勢を身につける。 | 1 | 2 | |
| 35500 (35000) | 社会福祉総論 I | 国民の生活実態と社会福祉制度の理念、歴史、運動、国際動向等を知り、政策立案・マネジメント能力の基礎を身に付ける。 | 2 | 2 | |
| 35502 (35002) | 社会保障論 I | 市場経済とは異なる社会保障の仕組みとそれが現代社会において果たしている役割について理解する。そのうえで、社会保障をめぐる具体的な問題状況を新聞・雑誌・統計資料・文献等をつかって自ら整理・分析し、社会保障を見る目を養う。 | 2 | 2 | |
| 35504 (35004) | 地域福祉論 I (地域福祉論) | ・地域福祉の理論と歴史を理解する。 ・地域福祉に関わる組織・団体・専門職の役割について理解する。 ・地域ニーズの把握方法と地域福祉計画について理解する。 | 3 | 2 | |
| 35510 (35011) | 公的扶助論 | ・生活保護制度の仕組みと役割について理解する。 ・貧困問題に関する歴史的、国際的展開を踏まえ、公的扶助制度の意義を理解する。 | 2 | | 2 |
| 15002 | 環境共生論 | 日本や世界の自然環境や環境資源の基礎論を理解し、環境を取りまく諸問題やそれに対応する社会動向を理解する。 | 1 | | 2 |
| 35100 | 自然環境の再生とその動向 | 日常的な生活が環境とどう関係しているか理解し、様々な環境再生の方法を学ぶ。 | 2 | 2 | |
| 35102 | 環境行政と関係法令 | 環境問題と環境政策の歴史を理解し、今後の環境政策のあり方を考える。 | 2 | | 2 |
| 35103 | 自然環境と社会 | 自然環境に対する人間社会の影響と、人間社会に対する自然環境の影響のそれぞれについて、基礎的な知識を習得する | 2 | | 2 |
| 35101 | 環境学習・市民活動 | 環境再生士の資格取得に必要な環境学習・市民活動に関する基礎的な知識を習得する。 | 2 | | 2 |
| 35104 | 資源運用・循環論 | 「環境共生」への理解や意識を深めるにあたり、特に水産業、食料供給に関わる活動や問題を具体的な事例として示しながら資源の捉え方やその利用と課題、人とのかかわりなどを取扱うことを通じて、地域資源の活用や食料供給、流通構造、循環型社会形成の概観を理解する。あわせて、地理学的な見方・手法を用いた課題考察について学び、今後の学習の基礎を習得する。 | 2 | 2 | |
| 15003 | 地域プランニング論 | ・地域をプランニングするとは何かを理解すること。 ・地域の将来ビジョンを描く主体は誰なのかについて理解すること。 ・地域ビジョンの策定にとって重要な観点は何か理解すること。 ・地域の人口動態と人口特性について理解すること。 | 1 | | 2 |
| 35200 | 地域学概論 | 地域学の目的や構成、地域に対するアプローチを初めとして、地域や空間、環境に対する見方・考え方や、成果・課題を理解すること。 | 2 | 2 | |
| 35201 | 地域計画論 | ・日本と世界の地域開発政策や国土開発政策の趨勢を学ぶ。 ・地域計画が策定された当時の地域間格差など経済状況と計画の目標とを関連させて理解する俯瞰的な視点を獲得させる。 ・計画目標と現実との乖離を批判的に検討する視点を養う。 | 2 | | 2 |
| 35202 | 住環境論 | ・生活者の視点の重要性を理解する。 ・住環境、まちづくりについての基礎的な知識を習得する。 ・住居をとりまく地域や都市にいたるさまざまなレベルにおける住環境の現状と問題点を理解する。 | 2 | 2 | |
| 35203 | 地域文化論 | 文化人類学の視点から見た地域文化のあり方を、具体的な事例検討を通じて把握する。 | 2 | 2 | |
| 15004 | 健康スポーツ論 | なぜ「健康」「スポーツ」が地域社会にとって重要課題として取りあげられているのかについて、学術的動向や医療、社会制度、マーケットなどの観点から学習する。 | 1 | | 2 |
| 35300 | 健康づくり論 | 地域などでの健康問題を把握するために必要な健康についての考え方や健康づくりを進めていく上で配慮しなければならない事柄について考察できるようになる。 | 2 | 2 | |
| 35301 | 健康体力論 | 健康・体力の基本的概念、健康・体力と運動やトレーニングとの関係について理解する。 | 2 | 2 | |
| 35302 | スポーツと身体システム論 | スポーツという身体活動に対して、身体構造や機能がどのように関わっているのかについての基本的な事実を学習する。 | 2 | 2 | |
| 35303 | 健康と食品機能 | 健康に関連する栄養素および食品成分についての基礎知識の修得を目的とし、食品の一次機能(栄養素)、二次機能(おいしさ)、三次機能(生体調節機能)について理解する。 | 2 | 2 | |
| 35304 | 生涯スポーツ論 | ・生涯スポーツ社会の実現に向けた我が国の政策を理解する。 ・生涯スポーツ社会の実現について、住民生活と政策の両面から理解し、多面的に考察できる。 | 2 | 2 | |
| 35305 | スポーツ指導論 | スポーツ指導の基礎的な理論の理解と実際の指導法について学び、グループでスポーツ指導ができる。 | 2 | 2 | |